

2008年4月1日から2026年3月31日に本院の眼科で
眼底疾患で検査および治療を受けた方へ

研究 眼疾患における脈絡膜構造の2階調化解析 の実施について

1. 本研究の目的および方法

当院受診された各種眼底疾患を有する症例(原田病などの炎症疾患や糖尿病網膜症などの網膜疾患、加齢黄斑変性症、網膜色素変性など)について、治療や病期による脈絡膜構造の変化を解析します。脈絡膜構造の変化が治療効果や病態の把握に有用であるかを評価できます。

2008年4月1日から2026年3月31日の間に当科に受診し、眼底疾患と診断された患者さんを対象とします。カルテ情報を用いて後方視的に解析し、患者の予後にかかわる項目を明らかにします。

研究全体の実施期間は2008年4月1日から2026年3月31日までです。予定症例数は徳島大学病院で2000例です。多施設全体では4000例の予定です。本研究は、倫理審査委員会の承認を得て実施しています。

2. 研究に用いる試料・情報の種類および保管方法について

情報：視力、眼圧、眼底所見、光干渉断層計画像など

個人情報管理者は三田村佳典教授とし、眼科学分野の施設可能な保管庫で研究期間終了後5年間保管します。保管期間終了後は完全に廃棄し、本研究以外には使用しません。

3. 本院以外の研究機関への試料・情報の提供

共同研究機関へのデータの提供は、ただちに個人を特定できないように加工し、電子媒体で特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

4. 研究組織

研究機関名	責任者	所属・職名
鹿児島大学	坂本 泰二	眼科 教授
市立札幌病院	今泉 寛子	眼科 部長
九州大学	園田 康平	眼科 教授
北海道大学	石田 晋	眼科 教授

5. 研究結果の公表について

参加施設のデータを総合し、本研究の結果は学会や雑誌等で公表することがありますが、公表に際しては特定の研究対象者を識別できないように措置を行った上で取り扱います。

6. 研究資金および利益相反管理について

本研究における特別な研究資金はありません。本研究は、本院の研究費のみを使用して実施されます。本研究の利害関係については、臨床研究利益相反審査委員会の審査を受け、承認を得ております。

7. 本研究への参加を拒否する場合

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

8. 研究責任者および連絡(問合せ)先

- 【研究機関】 徳島大学病院眼科
【研究責任者】 三田村佳典 (徳島大学病院眼科・科長)
【連絡先】 江川麻理子 (徳島大学大学院医歯薬研究部眼科学・講師)
〒770-8503 徳島県徳島市蔵本町3丁目18-15
眼科学分野 電話：088-633-7163 (平日9:00～17:00)
【研究代表者】 徳島大学病院眼科 三田村佳典

本研究への参加に同意しない場合は、連絡先までご連絡下さい。